

第3章 鬼が主人公！日本各地のあまんじゃく昔話①

この章では、広島市佐伯区に伝わる『人』を主人公とした「あまんじゃく伝説」とは異なり、『鬼』の天邪鬼（「あまのじゃく」あるいは「あまんじゃく」と読みます。）を主人公とした、日本各地に伝わる昔話を紹介します。

登場する鬼は意地悪で、鶏の鳴き声を真似したり、人間に化けたりして、周りの人をだまし、また、その行いを邪魔します。

第2章で紹介した、親の言うことを聞かない子どもの話とはかなり違いがあります。同じ「天邪鬼」をテーマにした昔話なのに面白いですね。

はしくいいわ

◆橋杭岩の伝説

【あらすじ】

“昔々、弘法大師と天の邪鬼が熊野地方を旅して串本までやって来ました。大島の人々が不便でたいそう困っているのを聞いた弘法大師は、「人に見られないように一晩の内に海に橋を架けてやろう」と思い、天の邪鬼にも手伝ってもらうことにしました。しかし、天の邪鬼はいつも人の反対ばかりする上、偉い弘法大師には引け目を感じていましたので、何とかして弘法大師を困らせたいと思っていました。

夜になると、いよいよ二人は橋をかけ始めました。天の邪鬼はふだんから働いたことがなかったので、すぐ疲れてきました。それであまり手伝おうとしませんでした。いっぼう、弘法大師は山から何万貫もある大きな岩を担いできてひょいと海中に立ててどんどん橋杭を立てていきました。「この調子で橋を作ると朝までには立派な橋ができ上ってしまう。何とか邪魔をする方法はないものだろうか」と天の邪鬼は考えました。そこで弘法大師が人に見られぬように夜のうちに橋をかけてしまいたい」と言っていたのを思い出して鼻をつまんで「コケッコー夜が明ける～」と鶏の鳴きまねをしました。弘法大師は「まだ夜が明けるはずはない」と耳を疑いましたが、もう一度天の邪鬼が「コケッコー」と鳴きまねをすると夜が明けてしまったと勘違いしてあわてて工事を止めてしまいました。それで今でも橋杭岩は海の中ほどまでしか続いていません。”

(和歌山県ふるさとアーカイブ<https://wave.pref.wakayama.lg.jp/bunka-archive/minwa/41.html>(参照2021-7-4)より引用)

【解説・コメント】

1 この昔話は、和歌山県に伝わるもので、登場する者は、弘法大師(空海。774年～835年)と鬼の「天邪鬼」(※)です。

2 話の発端は、弘法大師が天の邪鬼とともに和歌山県熊野地方から南の串本まで旅をし、そこで沖の大島の人たちが橋がなくて困っていることを聞き、一晩のうちに橋を架けてやろうと思ひ立ちます。

しかし、天邪鬼は、弘法大師を困らせてやろうと思ひ、工事の邪魔をしようと、夜の明けないうちに鶏の鳴きまねをし、それによって、弘法大師は「朝が来た」と勘違いをしてしまい、架橋工事を止めてしまったというものです。その工事の名残が、国の天然記念物「橋杭岩」になります。

3 一般的に「天邪鬼」は、①人の意見に逆らう ②人の心中を察する能力に優れている ③口まねや物まねなどによって人をだます ④最後には滅ぼされる、という特徴があります。この昔話では、①～③がそろっています。(今後、「天邪鬼」については詳しく説明する予定です)。

ちなみに、天邪鬼による鶏の鳴きまねは、夏目漱石の「夢十夜」の第五夜にも登場します。簡単に紹介すると、次のとおりです。

『敵将に捕まった武士が、死ぬ前に一目恋人に会いたいと思ひ、夜明けまで命を猶予してもらおう。』

女は武士のもとへ馬で真っ暗な道を急ぐが、鶏の一声を聞く。鶏の鳴く真似をしたのは天探女(「天邪鬼」の別名)だった』

というものです。

4 話に登場する「橋杭岩」(写真)は、串本町から大島に向かい、約850mの列を成した大小40余りの岩柱で、海の浸食により岩の硬い部分だけが残り、あたかも橋の杭だけが立っているように見えます。⁽¹⁾なお、1999年(平成11年)、大島に渡る、くしもと大橋が完成しています。空海の時代から約1200年、大島の人々の願いが成就したといえます。

「橋杭岩」は、2019年(平成31年)4月にNHKのテレビ番組「ブラタモリ」で放映されたので、ご覧になった方も多いのではないでしょうか。

5 余談ながら、空海は、当時の唐より真言密教とともに土木技術を持ち帰り、香川県の満濃池の修築工事を行ったといわれます。橋杭岩の架橋工事の話も本当かもしれないと思わせませす。

(※) 引用した資料では「天の邪鬼」と書かれていますが、広辞苑や日本昔話事典等には「天邪鬼」と記載されていますので、以後、「天邪鬼」と表記します。

(1)和歌山県公式観光サイト.わかやま観光 橋杭岩.wakayama-kanko.or.jp(参照 2021-7-4)より引用。



(写真提供：公益社団法人 和歌山県観光連盟)